

日本語表現法

単位数：1単位(30時間)

責任者：坂本 聡
学年・学期：第1学年・前期

◆一般目標(GIO)

自分の意図を正確に表現し、的確な文章を書くこと。また、適切な表現能力を身につけることを目標とし、実践を通して身につける。

◆到達目標(SBOs)

学年としての学びの場を形成する。

正確なコミュニケーションをとることができる。

相手に対し、話しやすい空気を作り、傾聴することができる。

自らの発言を「私」を主語として責任あるものにできる。

日本語として正しい文章を書くことができる。

メモ取りの基礎を習得できる。

◆学習方法

グループワーク等を多く取り入れ、学生自らが体験し、主体的に学べる形とする。

実際にコミュニケーションをとり、文章を書くことを通し、実践的な講義とする。

◆評価方法

出席、課題文、ノートなどにより、総合的に評価する。

◆教科書

◆参考書

◆教員紹介

担当教員は企業での勤務経験や国語専門塾講師の勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項目	講義内容	担当
1	表現の基礎 (コミュニケーション①)	つながろう！ 聴いてみよう、話してみよう	坂本
2	表現の実践 (文章①)	起承転結の文章	〃
3	表現の基礎 (コミュニケーション②)	自分を出そう！ 傾聴	〃
4	表現の実践 (文章②)	説明文	〃
5	表現の基礎 (コミュニケーション③)	Iメッセージ	〃
6	表現の実践 (文章③)	4コマ漫画作文	〃
7	表現の基礎	理解の仕方1 ノートテイキング	〃
8	表現の基礎	理解の仕方2 言い換え	〃
9	表現の基礎	書くときに注意すべき事柄	〃
10	表現の実践	要約演習	〃
11	表現の実践	論理的な文章構成について	〃
12	表現の実践	要約演習と思考の基礎	〃
13	表現の実践	要約演習と評価手法	〃
14	表現の実践	要約演習と評価手法	〃
15	総括	まとめ	〃